

# 浜松地区中学生サッカー選手権大会 要項

(第39回読売カップ争奪戦)

- 1 主旨
  - ・サッカーを通じて、親睦をはかるとともに、サッカー競技の普及と向上をねらい、あわせてたくましい少年の育成を目的とする。
  - ・指導者の研修の場とする。
- 2 主催 一般財団法人静岡県サッカー協会西部支部
- 3 共催 読売新聞社浜松支局
- 4 主管 一般財団法人静岡県サッカー協会西部支部第3種
- 5 後援 浜松市教育委員会 公益財団法人浜松市スポーツ協会 静岡第一テレビ 報知新聞社
- 6 期日 令和6年1月27日(土)~3月20日(水)
- 7 会場 浜松市内各会場
- 8 参加資格
  - (1) 2023年度(公財)日本サッカー協会へ登録してある中学2年生以下のもので、中体連登録しているものとする。※大会初日に選手証の確認を行う。(申請中は不可)
  - (2) 登録人数が11人に満たないチームがあった場合、次の条件のもと他のチームとの合併を許可する。
    - ・中体連の合同チーム参加規程に準ずる。
    - ※特別な事情がある場合は支部長の判断による。
    - ・支部監督会議で必ず合同チーム参加についての合意があること。
    - ・合同チームのチーム名は双方の名前をつけること。
    - ・救済策の合同チームであり、強化のための合同チームでないこと。
    - ・片方が11人以上のチームでも構わない。また、2チームでも11人に満たない場合は、3チームの合同チームも許可する。
    - ・各中学校長の承認を得ること。
  - (3) 参加チームは、その中学校に在籍し、かつ本協会の女子加盟チーム登録選手を移籍手続きなしで本大会に参加させることができる
- 9 大会規定
  - (1) 競技規則は、本年度(公財)日本サッカー協会競技規則2022/23による。
  - (2) 使用球は(公財)日本サッカー協会公認球(5号球)の持ち寄りとする。
  - (3) 開誠館を除く36チームによる予選リーグを行い、各リーグ上位2チームが決勝トーナメントに進出する。決勝に進出した2チームが、開誠館とのチャンピオンシップを行う。(3月20日予定)
  - (4) ①予選リーグ
    - ・試合時間は50分(25分-5分-25分)とし、勝敗が決しない場合は延長もPK戦も行わない。
    - ・勝ち点(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)の合計により順位を決定する。
    - なお、勝点在同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
      - 1 全試合のゴールディファレンス(総得点-総失点)
      - 2 全試合の総得点
      - 3 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
      - 4 シード順
    - ・1~4の項目について同一の場合は、抽選により決定する。
    - ・チームが棄権した場合は、棄権したチームの勝ち点を「0点」、相手チームの勝ち点を「3点」とする。また、棄権したチームの失点数は、相手チームの予選リーグの平均得点(小数点以下四捨五入)とする。例えば、Aチームが棄権し、Bチームの予選リーグの平均得点が3.25だった場合、試合結果は、A(0-3)Bとなる。
  - ②決勝トーナメント
    - ・試合時間は50分(25分-5分-25分)とし、勝敗が決しない場合は延長戦を行わず、PK戦を行う。
  - ③チャンピオンシップ(3チーム総当たり戦)
    - ・試合時間は50分(25分-5分-25分)とし、勝敗が決しない場合は延長もPK戦も行わない。
    - ・勝ち点(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)の合計により順位を決定する。
    - なお、勝点在同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
      - 1 全試合のゴールディファレンス(総得点-総失点)
      - 2 全試合の総得点
      - 3 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
      - 4 1~3の項目について同一の場合は、抽選により決定する。

- (5) 選手登録は試合ごとの25名登録とし、試合開始30分前にメンバー表に先発選手11名に○をして、1部本部に提出する。選手交代は9名までの自由交代とする。
- (6) 試合中のベンチ内にはスタッフ（監督、コーチ）と登録選手のみとする。スタッフは4名以内とし、これとは別にトレーナーのベンチ入りを認める。
- (7) ベンチは組み合わせ番号が若いチームがホーム側（本部から見て左）に入る。
- (8) 警告は累積2回で次の1試合を出場停止とする。本大会において、退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、これ以降の処置については本大会の規律委員会において決定する。規律委員会は、3種委員長、会場責任者、試合を担当した審判団、会場ごとの規律委員で構成する。
- (9) ユニフォームについては下記に定める。
  - ・ユニフォームは正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）準備し、いずれかを着用する。番号は1～25が望ましい。上着の前面にも番号を付ける。GKも同様とする。
  - ・正・副の2色については明確に異なる色とする。
  - ・主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
  - ・主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することかできる。
  - ・短パン・ストッキングにおいては同系色であればメーカー等、問わない。（ラインあり・マークありも可能とする。）
  - ・ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または、外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
  - ・アンダーシャツ・ショーツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。
  - ・合同チームについては上着は同じものを着用し、短パン・ストッキングについては同系色であればラインの有無等は問わない。またビブスでも可能とする。
  - ・1名しか登録していないGKが怪我等で交代しなければならない場合、フィールドプレイヤーがGKをする際、交代するGKのユニフォームまたはサブキーパーのユニフォームを着用して出場してもよい。
  - ・PK方式の場合において、戦術的にフィールドプレイヤーがGKをするときに、自分とは異なる番号のGKユニフォームを着用して出場することを認める。その際、パンツやソックスはフィールドプレイヤーと同じものでよい。
- (10) 試合の延期・中止など
  - ①試合は雨天決行とするが、暴風、大雨、洪水等の警報が発令された場合や、グラウンド状況などが不良の場合、その他不測の事態が生じた場合は延期を検討する。
  - ②試合途中でも、雷鳴が聞こえたり雷雲が近づいたりする様子がある時は、直ちに近くの建物、自動車、バスの中に入り、安全な空間に避難する。雷活動が止んでも20分以上経過してから屋外に出る。
  - ③①②のような不測の事態が生じ、試合続行が困難な場合は、試合を打ち切り、残り試合時間分を後日実施する。
  - ④後日の実施が不可能な場合は、打ち切り時点での点数で勝敗を決する。同点の場合は抽選で勝ち上がりチームを決める。

## 10 その他

- (1) 表彰は以下のようにする。
  - 1位から8位まで協会から賞状を授与する。また、1位から4位のチームにはトロフィー、読売新聞から賞状を授与する。（予定）
- (2) 大会参加費
  - ・1試合2,500円を試合ごとに徴収する。
  - ・グラウンド使用料は当該チームで負担する。※「グラウンド使用料÷チーム数」を当日会場にて集金する。
- (3) 開会式は、1月27日（土）SGFサッカー場にて8:30より行う。参加者は会場の1・2試合目の出場チームが参加する。閉会式は3月20日（水）SGFサッカー場にて、チャンピオンシップ最終戦終了後に行う。
- (4) 本大会の結果は春季西部大会のシード権に反映される。また、中体連夏季大会のシードポイントに加算される。
- (5) 大会結果はすみやかに谷野先生（可美中）へ報告する。（会場責任者）
- (6) 大会中における事故については応急処置を行うが、その後は自チームの責任とする。賠償責任が生じたときも同様とする。

## 11 大会不成立の場合の扱い

- (1) 原則
  - ・試合が実施できないチームがある場合は、該当チームを不戦敗とする。
  - ・状況に応じて大会を継続させるか、打ち切るかを主催者で判断する。
- (2) 決勝トーナメント1、2回戦を完了できないまま、期日までに大会日程を消化できなかった場合、春季西部大会のシードについては、ホンダカップの結果を反映させる。